

インキュベーションHUB推進プロジェクト

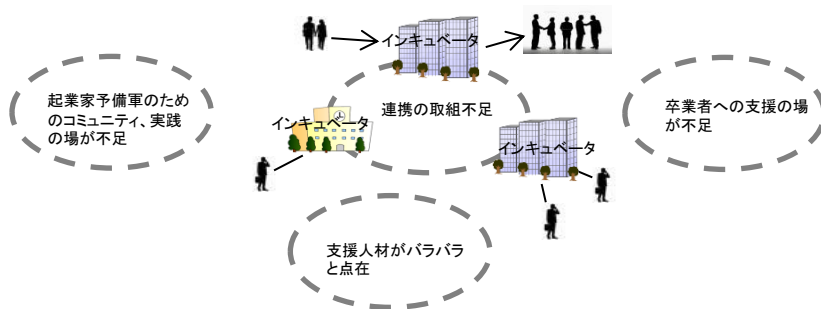
別紙

- 高い支援能力・ノウハウを有するインキュベータ(※)が中心となって他のインキュベータと連携体(=インキュベーションHUB)を構築し、それぞれの資源を活用し合いながら、創業予定者の発掘・育成から成長段階までの支援を一体的に行う取組を支援し、起業家のライフサイクルを通した総合的な創業支援環境を整備する。

※起業家支援のための施設やしきみを有する事業体

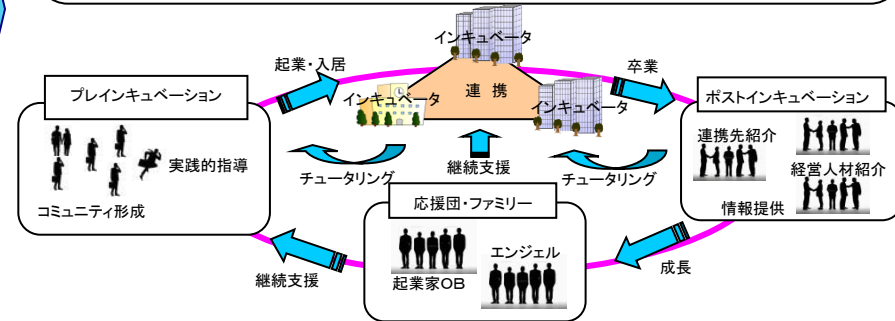
インキュベーション施設の現状と課題

- 都内の公的インキュベーション施設は約40、民間が運営する施設は約300
- 施設入居者への支援が中心。起業家予備軍や施設卒業後の支援を一体的に行う事業者は少ない
- 起業家を支援する外部人材はいるものの、ネットワーク化されておらず点在状態
- 各施設が分散独立して運営。各々の支援の規模が小さい



本事業の考え方

- ① 支援対象とするビジネス分野や支援エリア、運営方針を共有する2者以上のインキュベータが連携
- ② 起業家予備軍への支援、インキュベーション施設卒業後の成長支援、支援人材ネットワーク構築など、これまでの入居者支援を一体で行うことで相乗的な効果が期待できる取組を実施（都は3か年にわたり活動費を補助）
- ③ 3年間にわたる活動を通して、起業家のライフサイクルを通した総合的な創業支援環境づくりの整備を目指す



■補助率

- テーマ提案型：2分の1（1箇所上限1,500万円）
- テーマ指定型：2か年目まで3分の2（上限2,000万円）、3か年目は2分の1（上限1,500万円）

■補助対象経費

- マネージャー・スタッフ等の人件費
- 外部向けセミナー、ビジネスマッチング、交流会活動の運営費など、連携体の構築・運営・維持に要する経費